

## シャロームメモ

2019. 3. 22

第8号

### 1. 「シャローム平和のための祈りのセンター、3月の意向」を共に祈りましょう

今月は以下の祈りの意向が寄せられました。 恵みの家が全世界の SSND を代表して世界の平和を祈る 23 日に、コミュニティーで、個人で、また関わりある方々と共に心を合わせて祈りましょう。

- ① 3月14日から16日にかけてアフリカ南東部を襲ったサイクロンにより、モザンビーク等で260万人を超える被災者が出、洪水や道路の寸断で孤立している被災者に救援が届かない状況が続いています。今、苦しんでいる人々に一刻も早く必要な助けが届けますよう、また、2次災害が抑えられ、救助されている人々の安全が守られますよう助けを祈ります。
- ② 宗教間の対立によるテロ行為があとを絶ちません。私たちが始め、キリスト者和其他の全ての宗教を信仰する人々が、互いの信仰を尊重することに成長し、全ての人々が安心してそれぞれの信仰を生きる世界を現実のものとすることができますよう、神の導きを祈ります。
- ③ 東日本大震災から今年の3月11日で8年になりました。いまだに2500人以上の人々の行方が知れず、大切な家族や生活の基盤を失い、移住や家族の離散で苦しい生活を強いられている人々に生活を立て直す道筋が示され、力が与えられ、そのために献身している人々の働きが祝福されますよう祈ります。
- ④ 福島は、東日本大震災による津波で福島第一原発2号、3号、4号機が相次いで爆発し、人々を甚大な事故に巻き込みました。多くの人命が奪われ、突然の移住を強いられ、或いは避難地域に指定されなくても成長期の子どもや青年が住める状況でない地域からは自主避難せざるを得ず、未だに避難生活の苦しみが続いています。しかしながら、爆発した原子炉を廃炉にする目途も立たない中、2015年以来定期検査で停止中の原子炉9機がすでに認可を受けて再稼働をはじめています。苦しむ人々に必要な助けの手が及びますように、私たちがこの現実を学び、国のエネルギー政策を核に頼らないものへと転換することに向けて働きかけて行くことができますよう導いてください。
- ⑤ 3月8日は国際女性の日でした。女性が神から頂いた女性ならではの力に気づき、その力を育み、使うことのできる環境を共に造って行くことができますように。命を脅かされ、人としての尊厳を踏みにじられている女性たちの苦しみを共感し、サポートする力

を私たちにお与えください。

- ⑥ 3月22日は「世界水の日」です。私たちが命に欠かせない水の賜を浪費する『豊かな地域』の生き方を顧み、全世界の命あるものと水資源を共有する新たな生き方へと方向転換することができるようを導いてください。今生活に必要な水に事欠いている人々に必要な水を返すことができる知恵と実行力を私たちにお与えください。

## 2. 4月の『国際シャローム平和を祈る日』の意向を募集しています。

幅広く社会のニーズに心を向けて祈るため、多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

4月18日（木）までに本部オフィスまたはS. ジュディスにお届けください。

平和のための祈りのセンターはシャローム活動の発電所です。毎月23日の祈りを通して、世界の苦しむ人々のため、世界平和への様々な取り組みとその実現のため、自然界に健全さを取り戻すため、私たち自身がこれらの課題への気づきに成長し行動して行くことができるようになるため、心を合わせて祈りましょう。

より多くの皆さまから祈りの意向が寄せられることで、私たちの祈りの視野が広がり、深まります。皆さまからの祈りの意向をお待ちしています。